

令和3年度 地域別市民意見交換会等 意見概要報告書（議員定数関係）

【令和4年3月3日集約分】

市民の皆様からのご意見	
1	議員定数を現状より減らして、18議席として議員報酬を上げて若い方でも魅力あるものにする必要があると考える。
2	現在の活動範囲のままなら減員もやむを得ないが、市民だけでなくSDGsの延長線上で市域全域の資源や環境の課題と女性活躍社会への移行に取り組むのであれば、現状維持で問題ないと思われる。国会議員定数も同様であるが、人口比のみで決する性質のものではないことを認識すべきであり、特に高山市においては支所地域の活性化に、より尽力すべきである。
3	議員定数は、20名が適当と思う。24名は反対。議員のなり手は、今後減少する方向。議員の業務を進んで引き受けることは大変なこと。高山市の面積が広範囲ということは関係ないと思う。現在、2名欠員でも議会機能は果たしている。有能な議員の確保とやる気のある議員で構成されることを望む。定数削減による民主主義の低下とは論外。工夫とやる気で業務を遂行することはできる。女性議員は少なすぎる。
4	定数は多いと思う。
5	定数を2議席程、減らしても良いのではないかと思います。
6	定数は、20名位に減らした方が良いと思います。
7	説明動画を見させていただきました。議会の考え方は、議員定数及び議員報酬は現状維持で行うということだと思いました。 現在の高山市及び日本の大きな問題は人口減少や過疎地域の消滅などによる税収の減少から地方自治の運営が困難になっていくことだと思えます。そのような未来の地方自治を持続するために行政改革や議員改革を行う必要があると思えます。説明動画からは、行政改革は行うが議員については現状維持という説明だと感じました。やはり、両方の改革を進め未来の高山市の地方自治を維持していくべきだと思います。そこで、議員定数を現状維持するのであれば議員報酬を削減するなど何らかの議員改革を進めるべきだと思いました。 議員定数が減ると若者や女性が参画できなくなるという説明がありましたが、議員は選挙によって選出されるものであり、決まった議員定数の中で選ばれないのであれば、議員として活動できる資質ではないので、定数削減により若者や女性の参画が減るという考え方はおかしいと思いました。 議員定数が減ると有意義な議論ができないという説明がありましたが、議員一人一人が資質向上に努め、様々な専門性に対応できる力のある議員であれば人数に関係なく高山市民にとって有用性のある提案ができると思います。そのような力のない議員は、議員として高山市議会に残るべきでないと思いました。
8	地域が20に分けてあるので、地域数の20名で良いのではないかと思います。予算は大切に遣ってもらいたいです。今の高山市議会ぎかいだよりで十分です。
9	地域が20地域なので、2～4名減らして議員の力を強くしたほうが良いと思います。
10	現在、減員となっている2名分は削減すべき。大半の議員は市長や市の幹部の言いなりで、ゴマをするような議員は存在意義はない。
11	高山市の財政力、人口の減少を考えると議員定数を削減してもいいのではないかと。
12	改選では20人にしてほしい。可能ならまち協から意見用紙を1戸1戸配布し、回収して高山全体の意見としてまとめていただければ幸いです。
13	旧市内の議員数は削減し、支所地域の議員は現状維持できる仕組みを模索していただきたい。
14	定数は少なくとも良いのでは。市民の意見が反映できること。地域の集会などに足を運び、一緒になって課題等について考えてほしい。
15	きれい事ばかりならず、早期に定数削減すべき。18名が良い。他市との比較により、先導的に実施すべき。
16	多くの学識経験者は討議できる人数を第一原則で7～8人が妥当と言っているようですが、必ずしもその意見に準拠する必然性はなく、少数精鋭主義で頑張っていたら6人体制も可能と思います。

市民の皆様からのご意見

- 17 商工会議所からも度重なる議員定数見直しについて要望が出ていると聞いていますが、市町村合併により財政力指数も県下で下位グループに位置していること、議会からの不祥事者が出たことで、我々市民も恥ずかしい思いをしている。長引くコロナ禍で社会経済状況も厳しい中、検討会において定数現状維持の中間とりまとめは甚だ寂しい気持ちで一杯です。
- 18 市議会議員については、現在2名少ない22人で運営しているが、補充なしで対応しているために、各地域が20あるので、いまより2名少ない20名が良いのではないかと思います。やってみて不足していたなら、また、増員すればいい。
- 19 議員定数は少なくても良い。年金が少ない老人は働く場所もない。どうして生きていけばよいのですか。
- 20 議員定数は、削減は必要。2名減でも議会は成り立っている。
- 21 地域の人口減少に伴い、現在の議員定数は減らすことに賛成します。議員を減らすことにより、住民の声が行政に反映されない地域においては、その地域に住む町内会長が住民の意見を期間を決めて、要望等を取りまとめ、地域の行政機関に意見書を提出することで意見を反映させることが可能になると思います。そして、意見の回答を地域住民に伝言する。このようなシステムづくりがあればいいと思います。新型コロナの影響で、経済が疲弊している。議員報酬も下げればと思います。
- 22 議員定数は減らした方がよい。人口規模から見ると削減。現在欠員2で議会在成り立っている。資料を見ると現状維持の24人の意見が多数、現状維持ありき。削減をした方がよいとの意見が見られない。現在、高山市では、費用削減で努力されている、その観点から議員定数は減らす方がよい。
- 23 現在の市議選は大選挙区となっているが、小選挙区に戻したらどうか。定数削減を頭に置きながら人口を見ながら支所を幾つかにまとめてはどうかと思う。
- 24 現在の議員は専門の議員が少ない。兼業だと議員のなり手が無い、その面から議員定数を削減し議員報酬を上げる。
- 25 議員定数は20名以下に削減してください。人口減少が続いています。議会質問の内容が浅い議員も見受けられます。行政に対してしっかりした意見を述べられる人を求めます。少数精鋭でよいです。
- 26 定数が24名、現在22名で2名減、どんな問題があるのか。
- 27 議員定数を20名にしたらどうか。
- 28 市の面積が広いことは解りますが市街地出身の議員が災害発生時に現場へ来たことを見たことが在りません。選挙結果から見て定数を減らしても郡部出身の議員は当選すると思います。市の面積が広いことは議員定数を減らさない理由にはならないと思います。
- 29 第三者委員会を設けて客観的に議員定数を検討してもらいたいです。現状議員は2名減ですが何か支障があるのか？
- 30 人口減少と定数の考え方は、他都市では税収が減るから定数を減らしてきているが、労働人口が減ってくる中で今後は、減員を考えるべきではないか。
- 31 24にした11年前と今は違う。情報化などいろいろ進み、社会情勢も変わってきている。議員提案だと現状維持だろう。減員を考えるべきだ。
- 32 長期的には減らすべきだ。ケーブルテレビなどの普及や、ITの活用などにより削減すべきだ。
- 33 議員は地域や団体の代表ではなく、それぞれの分野への志やその能力などをもった立候補者であってほしい。そうすれば10人台でも可能だと思う。
- 34 2名欠員の現状で、具体的なデメリットは、より少数で諸課題に対応できれば良いのではないか。
- 35 定数は少ないに越したことはない。財政力指数を目安に考えればよいのでは。
- 36 定数を少なくしても問題無いかと思います。
- 37 議員定数は21～22名位がベストだと思う。今後人口減少による財政が厳しくなるのではないか。
- 38 委員会の数を減らして討議できる人数を維持すれば問題ないように思います。（説明資料p32～35を見るとそう思いました。）
- 39 高山市、確かに日本一広い面積ではあるが、大半が山岳地域で未踏の地域。市民の意見を聞こうとすれば、地元選出議員としてのわだかまりさえなければ定数を減らしても問題ないと思う。
- 40 旧高山市の議員が多いのではないかと思います。定数20名ではいかがなものでしょうか。

市民の皆様からのご意見

- 議員に必要なものは数ではなく、一人一人の責任ある対応だと思います。高山市は報酬金額も議員活動だけで生活できる額となっておりますので、せめて平日の日中は市役所などで議論を深めていただきたいと思います。また、高額な報酬は責任の重さを示していることを理解していただき、人数が多すぎると今後対応できないといった責任のない意見はやめていただきたいと思います。
- 41 合併時から人口も減少し、今後も減少傾向は変わらないと思います。そんな現状では、議員定数も比例して減らすのが通常の見え方だと自身は思っております。
- また、名張市議会では選挙費用削減のため市議会を解散し市長選と日程を合わせるとの報道を見ました。
- 高山市議会も少なくとも現状の22人以下に定数を減らしていただき、今年夏の市長選と投票日を合わせることで、数千万円の経費削減ができるのではないかと思います。
- 名張市の例も参考にまた検討いただければと思います。
- 全く定数削減を考えているとは思えない。配られてきた資料を拝読したが、都合の良い部分を羅列したに過ぎない。多くの市民は質の低下を嘆いている。本当にこの高山を良くしようと活動しているとは思っていない。一般質問は多いと言うが、委員会ですればいい事案ばかりで、ただのパフォーマンスだ。議員定数も現在2欠で問題あると思えない。報酬も高すぎる。期末手当は明記されず、飛騨市、下呂市の一番参考にしたいのが記載されていない。本来365日が活動であるべきだ。それが納得できないのならやめるべきだ。今ここで削減をしなければ、増々市への期待は縮むだけだ。定数18人を希望する。
- 42
- 議員定数について人口の割には多いと思います。聞き取りによりますと宝塚市におきましては20万人のところ定数24人だと聞かされ、以前は32人でしたので市民がそれでは多すぎると意見があり、現在は24人だそうですので、高山市も財政が苦しい中考える余地はあると思います。
- 43
- 私は7年前に町内会長をした時にブロック制と全市区の2つの選出方法を提案しましたが、その結論が出されることなく推移しております。いつまでその議論をされているのか、疑問に思いました。下記の通り、ブロックを人口別に9つにわけ、そこから1人ずつ選出する方法と、全市区で割り出す方法とミックスしたらいいと思います。最低18人でも行けると思います。【地方区9人、全市区9～10人】
- 44
- 議員定数削減すべき。常任委員会が8人の根拠の意味が不明。合併から15年以上経て、未だ支所地域の声などというのは、これまで何をしていたのか。他市と比較すると大垣市は人口約16万人、上石津のような飛び地があっても議員は22人。定数が削減されても魅力ある議会なら女性は立候補する。
- 45
- 現在24名の議員定数になっているが、第一印象としては、何となく多いのではと感じました。日本一広い面積であり、地域住民の声を議会に届けるには、多い方が良いと思うので何とも言えない。議員は地元地域だけではなく、高山市全体を見て活動してもらいたい。他の地域の現状を知り、住民の声を聴くことが仕事である。また、県内の他市と人口等で比べても多い。
- 46
- 議員定数について意見を求めながら、現状維持の24人がベストと結論付けているように思えます。議員定数は面積よりも人口を基準としていると思います。議員一人当たりの人口から見ると24人は多いような気がします。「議員定数を削減することは、女性や若者の議会への参画の機会を奪う」とありますが、高山市の場合、保守的なので町内会や地域、あるいは党から立つ方が多いのでは？いくら志があっても、そういった地盤がなければ当選できないのに、「参画の機会を奪う」と言うのはおかしいのではないかと思います。
- 47
- 議員数は、仕事の出来高で考えるべきでしょう。今のままなら減らすべき。もっと仕事をやるつもりなら増やすべき。本来だと、広い高山市なので、少なくとも議員数はまち協の数ほどは必要だと考えます。できれば現状の24名とし、構成はまち協で1名ずつ選出し、4名は全国区で学識というような組み立てではいかがでしょうか。ただ、もう10年もすれば、重要な政策判断はAIがKPIなどの評価指標をもとに行う時代になるような気がします。その辺りのことも考えてみてはいかがでしょうか。今回、難しい資料をたくさんいただきましたが、市民がここまでのことを理解するのは大変なことだと考えます。
- 48
- 議員定数は21名で良いと考えます。もめることが多いような委員会では何にもならない。議員の選挙自体が無投票かもというような現状ではいけないと思います。議員定数は少なくとも各議員が多方面の意見を聞いたうえでの議論であればよいことだと思っています。
- 49
- 高山市の市議会議員の定数が現在24名です。大垣市の議員定数は23名です。古い資料かもしれませんが高山市の人口が約92,000人、大垣市の人口が約163,000人です。単純に疑問に思うのが、なぜ人口の少ない高山市が大垣市より市議会議員の定数が多いのですか？大垣市の人口を基準にして、高山市の人口を按分すれば高山市の市議会議員の定数は13～14名で良いと思います。回答をお願いします。
- 50

市民の皆様からのご意見

51 人口比、他市との比較も比較論としては存在すると理解している。そういう点から見ると、若干、議員の皆さんに検討いただく余地があるのではないかと。例えば、岐阜市は人口40万6,407人で議員定数は38名、議員1人あたりがカバーしている住民が、1万690人(岐阜市は最大)、大垣市は人口16万443人で議員定数が22名、議員1人あたりのカバーしている住民が7,293人、各務原市は、人口14万806人で、議員定数24、議員1人当たりの人数は5,867人、多治見市は議員1人当たりの人数5,187人、可児市は議員1人当たりの人数4,602人となっている。それを見ると、高山は人口8万5,939人に対して議員定数24人で、議員1人当たり3,581人、それだけの住民をカバーしている。そこにおける比較論としての部分は、若干、検討の余地はあるだろうというのは、定数削減の一つの根拠。日本一広い市ではあるが、92%は山林。高山市の市街地と議員の住居地から見ても、1時間以内に交通は整備されている。そういう点においては、広い面積をカバーするにあたり、山林を除く、残りの8%をカバーする面積だとすれば、人口で比較する比較論が出てくるのではないかと。高山市の人口も、合併当時の9万数千人から、現在は9万人を切っている。人口減少ということからも検討の余地は十分あるのではないかと。

52 人口と議員の比較ということで考えてみました。単純に言いますと、定数を36人から24人にしたときの平成22年の高山市の人口は、約9万2,700人でした。これは議員一人当たり割り戻すと、3,860人ぐらいになります。そして、高山市の第八次総合計画では、令和7年の計画人口を8万2,000人と想定している。いろいろな要素を考慮する必要があるが、人口減少を考えていくと、平成22年当時の人口と、第八次総合計画の令和7年の人口比を考えれば、約1万700人の減少。そこでこの8万2,000人を、先ほど申し上げた議員1人の3,860人を考慮し比較すると、約21人という数字が出てくる。これは単純にやった場合です。そのようなことを考えると、議員減少を考えるのであれば、20人程度が妥当ではないかと。

53 一人ずつの報酬を減らして議員を増やす方がよい。

54 面積が広いだけに細部まで目が届く行政にして頂きたい。その為に必要であれば議員の増員にも賛成です。

55 説明動画を拝見しました。非常にわかりやすく役割等議会の活動内容がすこしわかりました。定数は必要なら増員してもいいと思います。人員不足で委員会活動が難しく進まないとならないために。

56 議員定数に関しては東京都とほぼ同じ面積の高山市において細部にわたる住民の声を吸い上げるためには現状維持が妥当と思うが、いかに地域に密着した議会を運営するかが、非常に重要と思われる。

57 高山市が良い方向であれば定数は問題ないと思う。

58 3常任委員会×8人の現体制は、市域の広さが広大なこと、類似市と比較しても同程度であることをみると、現体制の維持という考え方は賛同できる。

59 支所地域の声を市政に反映させる観点からは支所地域の置かれている現状は地域ごとに多様であり、議員定数を減らすことによって声が届きにくくなることは避けなければならない。

60 議員定数24名は妥当と思います。

61 定数について、非常によく考えてみえます、安心です。定数を案件にされますことは、何か心配があれどと思いますが、そこが伝わってこないもので、よく見ている人は議員さんの仕事そのものだと思います。

62 現状維持24人で地域の声を検討してほしいと思います。

63 令和3年度市民意見交換会での資料に添い、活動していただきたい。

64 高山市は日本一広い面積を有し、議会として現状の24名体制で広域となった全市域をカバーするとの約束の元に今日に至っている。もし、議員定数の削減があるとすれば、その影響は支所地域が大となるのではないかと。過疎化が進む支所地域に於いて、その方向は何としても阻止しなければならない。したがって、議員定数は現状のままでお願いしたい。

65 議員を削減することで今以上に議員選出ができない地域ができ、要望や意見を伝える場が少なくなるため現状維持で。

66 議員定数については、他の自治体と比べればそれぐらいなのかなと感じる。

67 合併により広大な面積の高山市となり、人口比だけで他市との比較をしてはいけないことから、現状維持でよい。

68 市民に見える分かりやすい議会運営であれば、市民も納得して現状維持でも良いが、今ひとつ市民に届いてない感じがするが、取り敢えずは現状維持で。

市民の皆様からのご意見

- 69 24名定数でよいと思う。しかし、人口減少は、必ず進むと思うので今後の定数について今のうちからしっかり協議してもらう必要がある。
- 70 議員定数は、現状でよいと思う。議員報酬については、飛騨地方では、車が必要不可欠である。灯油、ガソリン、スタッドレスタイヤなどにお金がかかり、市民の給与は、大都市と比較すると安い。そう考えると議員報酬は高いと言える。
- 71 現状維持でよいと思う。県内外他市と比べても平均値に近い。各地域のために率先して動いてくれるのはその地域の議員だと思う。減らすことによってその地域の議員がいなくなると地域の問題解決は、遅くなりがちになる可能性が高くなると思う。
- 72 議員定数は、減らす必要はない。議員活動費をもう少し減らすか公開していく方がよいと思う。
- 73 ただ単に定数を減員して議会の機能不全にならないようにしなければならない。議員さんとの意見交換会が中止となり、よくわからないままで意見はない。市民の生活レベルを向上していただくためにも定数を減員する必要は、低いような気がします。
- 74 定数は、減らす意見が多いが、弱者の声が届きにくくなるように思います。
- 75 市議会議員の活動が市民に反映されていないと思います。市民個々の痛みが分かる行政にしてほしいと思います。市議会議員の定数については現在の状態で良いものと考えます。税金の無駄遣いはやめた方がいいと思います。
- 76 高山市民のために日々真摯に仕事をしてくださればよいと思います。議員については、日々自己研鑽し資質向上に努め、人として公正・公平に意見を述べ、行動できるようになってください。
- 77 広い地域なので、現状維持で良い。
- 78 総人口と面積の広さを考えると、4委員会×7名で28名でも良いかと感じたが、前回の改正時の確認を踏まえると現状のまま頑張っていたきたい。
- 79 各常任委員会では8人以下の体制では対処が難しいこと、増員すれば報酬に関わってきますので、現状維持にてお願いします。
- 80 地域課題は益々深刻化・多様化・複雑化していくと思われます。課題に取り組んでいく為には現状維持の定数で良い。
- 81 議員定数および報酬とも現状のままで良いと思います。
- 82 議員は各支所ごとに1名は必要と考える。24名で良いと思う。議員の質を上げればできると思う。まちづくり協議会に各議員が参加する機会を増やせば見える化ができるのでは。
- 83 定数については現状のままで良い。コロナ禍の中で難しいと思うが住民の意見を聞く機会を増やしてほしい。報告をもっと積極的に発信して欲しい。
- 84 定数が現状維持の24人が望ましいと現場の人が考えるのならば、それで良いと思います。
- 85 議員定数については、日本一広大な面積、エリアをもつ高山市においては、旧市街地のみならず、各地域においての様々な意見・課題を汲み上げ、生活をより良くしていくためには、現在の定員数が妥当であると思う。しかしながら、果たして過疎地域等の切実な課題を本当に吸い上げて改善の努力をしているのだろうか。高山市議会としての「24名体制で広域となった全市域をカバーする」と市民に約束してきたことが本当に実現、努力しているのだろうか。そこが見えてこない。過疎地域を過小評価しているのではないだろうか。問題は議員定数ではなく、市民に約束してきたことの中身である。
- 86 議員定数は24名体制。
- 87 現行の24名が良いのではないか。
- 88 定数が減れば郡部からの出馬が難しい。基本的には、定数は現状のままでよい。議員の質の問題であり、定数よりも議員の質を向上する改革をして欲しい。
- 89 議員としての資質があれば、定数は現状のままで良い。
- 90 削減すべきと考えていたが、議員がよく練って胸を張っての人数ならいい。定数の中長期ビジョンでの24人であるべきだ。
- 91 24～26人が妥当。報酬はこんな社会状況では、このままでいいと思う。
- 92 2人欠員で出来たので22人でもと思う。支所地域を考えれば24人が妥当と思う。

市民の皆様からのご意見

- 93 議論を尽くしたのなら、今までどおりでいいと思う。
- 94 議員定数はどうして減らさなければならないのか。合併前から見れば合併後には一人、それが今はゼロ。民主主義の観点から見てこれで良いのかという思いがある。行政改革と議会改革とは違うという議会の指摘する内容はその通りだと思う。減らすばかりが議会ではないと思う。
- 95 今商工会議所などから定数削減の要望が出ているということなのですが、国政レベルでもそうなのですが、定数の根拠というのが何かというと人口数。人口数から言えば何倍の格差があってどうのこうのという議論があって人口要件だけで議論している。都会の論理、中央の論理ばかりで議論している。経済界の論理・企業としたら、形に見えるものとして儲けを出すのが企業ですから、その観点から意見を言われるのも致し方ないと思うが、議会の皆さんがやっていたいのはそうしたことばかりではなくて、無形の効果というようなものを、目に見える金銭面での効果というばかりでなく整えていただく事でもあり、そうした配慮で活動してほしい。今中間報告と言うことで定数24と打ち出していたが、委員会での議論する数という意味から言っても今回皆さんが検討していただいた方向で良いと思う。行政改革という見地から見れば、コストを落とすことで組織の機能が低下したのでは何にもならない。コストを下げたと言うときに、分母の話だけして分子の機能が落ちているという例が良くあって、最小の経費で最大の効果をというのは、住民サービスが落ちては何にもならない。職員経費が下がったからと言って住民サービスは充足するのかそれがセットで達成できるのか。その辺のところを議会の皆さんにはしっかりと監視をしていただきたい。
- 96 定数については24名ということで皆さんが決めた内容で良いと思います。高根は人口も減って過疎になっています。住民サービスといった点では役場の職員をあまり減らさないでほしい。
- 97 議会が議論し必要と考えるのであれば、それで良いし理解できる。各地域にとっても議員の存在は重要。
- 98 結論が出にくい問題。現状維持したうえでより議会が機能すべき。
- 99 定数に合わせて報酬まで減額することは、議員の意見力やモチベーションを奪うことになるのではないかと。定数は維持でよい。
- 100 定数が減れば、負担が増えパフォーマンスが低下する。維持でよい。
- 101 議員定数について、現状維持でも良いと思いますが、面積が広くて支所地域の振興の課題に取り組むのであれば、24名の中から各支所地域1名ずつは選出していただきたい。女性議員がもう少し欲しい。
- 102 議会活動、市民に見えるようにする。難しい課題。荘川の場合は、地域から議員も出ていないし、身近に感じることはできない。議員定数でも述べたように24名の中から各支所地域から最低1名で9名、それ以外を選挙で選出してはどうか。そうすることにより、より地域に密着した議会活動になるのでは、(15名)
- 103 高山市の議員定数24人については、妥当な人数だと思います。3つの常任委員会に8人ずつを割り振るとしても良いと思います。多からず、少なからず、全ての議員が意見・提案など出しやすいのではないのでしょうか。
- 104 現状維持
 ①議会機能維持のため
 ②広域な市なので
 ③人口や面積、議会活動を考えると現状維持
 ④各地域の声に耳を傾けて議会で検討していただくために
 ⑤人口減少が進むと思うが、面積が広い高山市なので、議員・行政の目が届かず孤立するような地区を出さないために
- 105 様々な意見や要望があると思いますが、高山市の地域性や現状を考えると妥当だと思います。他市と比較して、多様な意見はありますが高山市や地域住民のために、議員一人一人のやる気や働きが、問題になってくるのではないかと思います。
- 106 定数24は現行でよいと思います。しかし、多様な意見を集約するためには女性・若い人の議員参加の促進を考えてほしい。
- 107 議会機能維持のため24名は必要らしいので、当分24名でいいと思うが、人口減が進むので21名でもできる体制にしてほしい。
- 108 広域な市なので、定数及び報酬も現状通りで良いと思います。

市民の皆様からのご意見

- 109 議員定数を減らしてしまうと、人口の少ない地域の声が届きにくくなるように思えるので定数は現状のままがいい。町内で困ったことが起きたときは支所に連絡しますが、議員さんに直接連絡できれば、対応がもっと早くなるかと思ったりします。
- 110 議員定数については、日本一広い面積でありながら24名体制で頑張っていたいただきたい。女性・若者の参加が急務と考える。議会・議員には、誰一人取り残さない、SDGs行動をとってほしい。
- 111 なんとなく議員数が多いのではと思っていたが、24名の納得ができた。
- 112 広大な面積の高山市においては、支所地域や旧高山の各地区において抱える課題も多々あり、住民の要望等を把握し平等な形での議会運営を行う必要があり、そこが機能する最低限の議員数は確保する必要があると考えます。また、若者や女性が政治参加しやすい環境とするためにも、現状維持は最低限必要と考えます。
- 113 いまいち議員さんの活動が見えません。伝わってきません。議会での一般質問など見ても強く発信するような市民に訴える力が欲しいです。24名の人数をそんなに多いとは思いませんが、個人個人、あの人は何をしているのかな、どんな活動かわからない方はいますよね。ただし、必要ですよね。今後の活躍を期待します。
- 114 現在の高山市には特別な課題に取り組まなければならないことも無いように思います。現在の議員数で十分議論していけるのではないのでしょうか。昔から自分たちの地域から議員を出す。そうすれば自分たちの地域の要望はいち早く聞き入れてもらえる。そんな雰囲気がありました。これはナンセンス。だから傍らから見たら、何であんな人が議員として働いているのか不思議に思えることがあります。議員一人一人が高山市のことを理解できるような人々と議論し耳を傾けてもらいたいと思います。高山市の財政に大きなダメージを与えているのなら議員定数も減らすべきだと思います。
- 115 常任委員会の活動に負担をかけないためにも現状の議員定数で良いと思う。
- 116 広域である高山全市域を適切にカバーしていただくために現状維持で頑張っていたいただきたい。
- 117 定数は妥当と思われるが、広い高山市全体の今後のあり方を考えている議員が何人いるかがポイントと思っている。世界目線で通用する高山市になるためには、どうあるべきか議論いただける議会運営を強く望む。
- 118 全国平均や高山市の面積から考察すると、現状の定数でもよいかと思う。一方で、地域割りで定数を考えてもよい。例えば、旧高山市内、南高山、北西部高山で今後の人口減を考えた地域割りとし、その1地域1名として定数を決める。
- 119 議員定数が減らされると旧郡部の要望事項が通りにくくなり困る。現状維持が望ましい。市政のチェック、提言のためにも減らしたらダメだと思う。このようなアンケートは、大々的に実施したほうが良い。火葬場建設アンケートのような市民時報に返信用はがきを付けた方式でやってほしい。いろんな意見が出るはず。
- 120 議員定数については、24名でも良いとは思う。(地域が広い)ただ、旧高山市の方だけではなく、地域別に振り分けた配置、意見が届くように、また、実施するようになると良いと思う。増員については必要ないと思います。
- 121 個人的には、高山市は議員定数24人でいろいろがんばっていけるくらい価値のある地方都市だと思っている。いろんな議論が8人以下になると成り立っていかないということもすごくよくわかるし、そこを削って小さくしていけばいいという問題ではないような気がする。ただし、人口がどんどん減ってきて、経済状況も悪くなって、財政も苦しくなっていくことになる、それは人数を減らさないといけないという状況になってくるのかと思う。ですので、行政と一緒に、高山市がそんなような状況にならないように、明るい未来をつくっていただきたいと率直に思った。
- 122 定数については、いろいろ問題はあと思うが、支所地域にしてみれば、人口減少もかなり進んでおり、支所地域としては最低1人くらいの議員がいてくれれば非常にありがたいと思っている。特に全市一区なので、一概には言えませんが、人口比からほしい1人くらいは選出できるような体制はつくっていきたく思っている、できればあまり極端に減らすようなことは極力避けていただければありがたいと思っている。
- 123 一般市民が議会に触れる機会は「ぎかいだより」しか思い浮かばないが、興味を持つ内容なのか、若い人や女性も見たいと思う内容なのか疑問。もっと身近に感じられる内容にすべきと思う。
- 124 バブル崩壊後、ビジネスの仕方や考え方が大きく変化している社会で議会や議員に、些細な困りごと等細部にわたる住民の声が届いているのか疑問です。旧態依然とした認識ではありませんか。
- 125 各地域の意見交換会などを開催して、とにかく「議会は身近」「相談しやすい議員」をアピール、工夫していただきたい。

市民の皆様からのご意見

- 126 議員が基盤としている地域のみ利益で議員活動を行うのではなく、議員全員が高山市全体の利益のために活動してほしい。
- 127 議会議員に関心のない若者などにわかりやすい方法で議会の仕組みを伝えてほしい。アンケートなどで関心を持ってもらうようにしてほしい。
- 128 議会議員に期待すること、高山市の現状をよく理解して現状を維持するとき、発展させるときか、議員でもよく考えて行動、発言していただくとありがたいです。
- 129 議会の活動、市民に見えるようにするには難しいと思います。地道な仕事だと思います。市民が議員に会いに行ったとき、話を聞いていただけたら、そのことについて思いを話されたら市民と議員さんの間が縮まると思います。現在の取組で十分であると思います。
- 130 議員定数の議論が出るのは、議員の活動が市民によく理解されていないからだと思うので、議員自らが月1回は地域住民や各種団体との話し合いの場を設けるように議会で協議していただき、制度化していただければもっと議員を身近に感じられて活発な実のある議会となっていくと思う。その上で議員定数の議論となっていくのがよいと思います。
- 131 春と秋には祭があり、夏には山、秋には紅葉、冬はスキーといった一年を通した観光スポットがあるので高山市全体を一つに考えて、日本一広い面積があるので、多いに活用するような大胆な議員さんが1~2人位いると今以上に観光客が増え、各地の発展につながるのではないかと。
- 132 議会における質問の内容自体が実態とギャップがある場合もあり、特に産業に関わる件については、自身の主観より、適切な関係者からの聞き取りにより現状を把握されたほうが良い。日常に諸課題が山積しているが、議員に伝えたくても、事務局が考えるほど方法が市民に浸透していない。今回のような意見用紙による投稿のほか、SNSにより常時受け付けてはいかかがか。また、直接話したいという希望者があれば積極的に返信し、意見収集に努められたい。世界的に女性議員が多くなっている中で我が国は後進国であるが、すぐに是正されることは期待できないことから、町内会や各種団体の役員男女構成比率を見直すよう働きかけを行うなど、社会の風潮を誘導する役割を果たされたい。
- 133 行政と行政の癒着を監視して欲しい。
- 134 もっと上宝のような辺境な地域の声が、しっかり届く体制を築いて欲しい。地域の声を拾い上げてくれないと何も見えない。
- 135 議員が出ていない地域があるので公平にするために法律をかえて、まち協会長が議員になればよい。十分な議論ができないと言われるが、時間を増やして議論をすればいいと考える。飛騨市のように積極的に新しいことに取り組みば、議員や職員の人数が必要になると市民は考える。それが見えないので定数削減の話になることに気が付いてほしい。高山市の経済が上向きになればこんな問題にならない。コロナだからという言い訳をする議員や職員は不要ではないか。自分の意見を表明せず、棄権するような議員がいるなら定数は少なくてよいと思うのが普通。高山市の条例や法律に縛られて活動しては人口減少に歯止めはかからない。観光に主を置きながらもそれに肩をならべるものを試行錯誤しながら見出していかないと議員も職員も減らせと言われてしまう。
- 136 議員一人ひとりがもっと地域を知ってほしい。過去には、地域の実情を知らずに話された人もいた。
- 137 議会活動に一般市民が関心を持てるような活動をしてほしい。
- 138 地域の活動にもっと積極的に参加するなど、密着した活動から見えてくるものがあるのではないのでしょうか。
- 139 各地域のまち協会に参加し、問題点があれば直接肌で感じてもらう、そして議会に反映させる。
- 140 目先ではなく、20年後・50年後の高山がどうあるべきかをしっかり考えて。
- 141 ぎかいだよりだけでなく、今回のような説明動画や広報たかやまやヒッツFMに情報をあげるなど自然に議会が毎月どのような活動をしているか高山市民に伝わる工夫をしてほしい。
- 142 1議員の責任を持つ力を上げた方がいい。
- 143 YouTubeでのライブ配信など、もっと見やすくサムネイル画像などつけ、直感的に見やすいのにして下さい。
- 144 携帯電話から見やすくして下さい。
- 145 携帯電話から意見を集めるといいと思います。
- 146 人口減少が加速している中、市の対策は急務であり早急に議会としても集中して議論いただきたい。

市民の皆様からのご意見

- 147 何人が適正なのかよくわからないが、住民目線と行政目線ではかなり違いがあると感じる。コロナで生活困窮者が急増していること、新資本主義のもと格差が広がっていることを踏まえ、定数減もさることながら、議会費全体の縮小も検討するべき。定数が減らせないのであれば、議員報酬、経費などについて2人分減らすなど、議会運営の効率化を図ることなどできることはあるはず。住民に税負担が増える中、節約を強いられる現実の中で議会も覚悟をもって進めないとなんて納得できないのではないかと。議員とは職業なのか政治家なのか政治屋なのか疑問が残る。
- 148 議員は住民の代弁者であり、住民に支えられていることを前提にすれば、議員一人一人が毎年のマニフェストを公開し、実績を公開するべき。頑張っている議員とそうでない議員の差をはっきりさせるべき。
- 149 財政力に合わせた報酬に減額するべき。他市と比較しても多いと思う。
- 150 地域の議員は、町内会に顔を出し、地域の困りごとなど自ら聞いてほしい。選挙が近づくと出てくれるようだが・・・。
目先の問題解決と行政をけん制する役割があり、目先の問題解決はできる限り各支所にもっと権限を持たせ責任を持って解決させるべき。議員は10年先を見据えた政治経済の仕事に注力してほしい。特に議員なき地域は、支所が議員の役割も担わないと住民は困るのではないかと。最後に保守系の女性議員が欲しい。
- 151 献身的な役員さんに支えられているまちづくり協議会はどうですか。役員が多くがお年寄りだから、それほど報酬は必要ではありませんか。事務局員はどうですか。生活するに十分な給与を与えていますか。市は、まちづくり協議会に多くの負担と責任を負わせていますが、権限は。まち協は団体として人格を持っていますか。役員は公選により選出されなくてもよいのですか。公的な責任を負わせ、そこには多くの税金も投じています。負担や、責任、処遇は議員さんと比較してどうですか。まち協の設置条例はありますか。学校区とまち協エリアが異なるまち協の地域は上手くいっていますか。防災などの機能に支障はありませんか。議員さんは、問題意識をお持ちだと思いますが、市長が動かないと改善できませんか。地方自治法第112条による議員提案で条例案を出してみたいかがありますか。
- 152 支所地域は特にそうだが、地域の利益主導型の活動を願う。
- 153 住民の代弁を常に心がけ、リモートでも定期的に住民との対話の機会を作って思いを吸い上げることを期待する。
- 154 議会ICT化、現状のFacebook活用を図り議会を見える化する。
- 155 議会の活動は、あまり伝わってこないのが実感。市民の困り事を吸い上げる場と機会があまりに少ないと思う。「聞いて、つかんで、報告する」ことで、市民に見える活動にしていきたい。
- 156 女性や若者がメンバーを見る限り市議会では少ないと思います。年配者が多く市政について熟知されており仕方ない事と思いますが、4期を越えれば勇退し、若者・女性の参加を促し活性化を図るようにしたらどうでしょうか。
- 157 市民との定期意見交換会・地域見守り推進等を活用し、議員活動がもっと市民にわかるようになれば良いと思われる。
- 158 事業をしている議員も多いと思いますが、議員報酬分は働いてもらいたい。
- 159 議会議員に期待したいですが、コロナ禍の現状の中、いろいろなことが中途半端になっている気がします。
- 160 今以上に、YouTubeやSNSを活用する。(わかりやすく)
- 161 定数を削減すると議員の考え方が同じ人ばかりとなることもあり、多様性を重視する点からは問題があるかもしれませんが。但し、現状の議員活動では市民の目からは見えないことが多く、変わらないなら定数削減、報酬削減の意見も出てくると思います。今後の議員の活動次第です。
- 162 直接意見を述べたり、地域要望・市の方針等を伝えたり話を聞く機会がないと思う。少数の町内の意見や動きを見ているのか。議員は副業ではなく専門職として責任をもって下さることを期待する。
- 163 定数を現状維持にするならば、DXやSDGsへの取組を議会サイドでも推進できるよう若返りが必要でないか。定年制の導入や連続就任期間制限でより若い人への門戸が開けるのではないのでしょうか。今の高山市政は議会も含めてスピード感が感じられません。活動を周知するために様々な方策を試して下さい。(町内毎に報告会をする。ZOOM会議の開催。SNSの活用等)
女性議員や若い議員の育成も現議員が担っていくべきではないか。議員さんという方々は、保身と言いつけばかりがうまいような気がしてなりません。

市民の皆様からのご意見

164	議員定数を決めるにあたって、面積を指標の1つとするのはナンセンスだと思います。人が居住していない森林に囲まれた高山市が広いのは当たり前。いくら広くても車社会の現代では中心部から1時間以内で行くことができます。各地域の問題については、まち協に任せて、高山市の今後の発展のためにどうするかという高所大所から見て意見を述べていく議員さんであってほしいと願っています。
165	期待する事は、より良い政策を考えて頂く事。
166	女性がもっと多くいて欲しい。
167	日本一広い高山市、すみずみまで市民の声を聴いていただく事です。
168	透明性のある議会。
169	動画と報告資料を見ての意見のため、当然私自身が不勉強な点、捉え違いをしている点は多々あるかと思えます。その点は申し訳ないです。ただ、多くの市民の間で減員を望む声がある理由としては、肌感覚ですが某市議会議員の辞職に伴う事件や、前回の市議会議員選挙にて当選議員間で得票数に大きな差があったことは間違いないと思えます。そうした市民の印象にどう応えていくか、また市議会の質をどう向上させていくかといった議論がこれから活発化していくことを一市民として望んでいます。
170	高山市議会議員として高山市の未来のために、一人ひとりの議員さんがビジョンを持って、市長と向き合う議会や議員であってほしいと思います。また、自身の地元(地盤)地域を代表して声を届けることも大事ですが、「議員を出せていない支所地域…」といった不安の声があることは問題だと思いますので、「高山市」議会議員として自身の地元以外の地域にも積極的に携わっていただきたいです。ただ、この部分は各議員さんの縄張りでもあると思うので、議会としてカバーしていくところなのかなとも思います。
171	もっと気軽に市民と市議会議員で意見交換できる場を作ってほしいです。コロナ禍では難しいかもしれませんが、例えば議員とお茶する会とか、議員と若者で飲み会とか、そうしたハードルの低い交流・意見交換の場があると、一市民としても自分の声が市政に届いている実感があるのかなと思います。また、各議員さんにおいてはSNSやHP、ブログなどの情報発信をもっと積極的に行っていただきたいです。そうした不特定多数の市民への発信がないと、結局、自身の地元(地盤)地域や周囲のお友達の声を届けるための議員なのだと、市民が認識するのも無理はないかなと思います。
172	高山市議会の議員定数は24人だが、全国平均は23.4人とある。全国平均は議員が多いところと少ないところをまとめてあるが、高山市のような5万人から10万人はどうなのか疑問がある。ネットで調べたら5万人から10万人では、平均20.6人で高山市は多い方である。基本的には住民の代表機関であるが、高山市は殆ど山林であり、議員を減らすことは少数意見が通りにくくなるので多いほうがいいが、果たして我々の少数意見が議員に届いて活発に議会で披露されているのか見えにくい。モンデウスとアルコピアのスキー場をどちらか廃止するというテーマがあるが、地域住民の意見を聞いて議会で通していただいているのか。
173	60の定年を過ぎた人が若い人の意見を吸い上げられるか。若い人が議員になれる組織をつくれるのが大事。それには待遇をよくするのか。人材を育成するのか。声だけで女性や若い人をつくらうとすることは無理な話だ。若い人が立候補できるまちにしないと、定数のことよりそちらが先だ。
174	議員定数の資料では、他都市と比較してよく作られている。議会は、多様な意見があつてその意見を戦わせてよいものをつくるのが民主主義の基本であるので、人数を減らすだけではない。減らす必要はないが、財政の問題もあり、財政指数もいい方ではないのでその兼ね合いはどうなのか。議員は報酬だけでやるのが基本であるが、副業をされている人もいる。今後、議員の報酬も検討されるとあるので、バランスを取りながらそれなりの人数を確保して働いてほしい。
175	今後の議会運営を考えた時、若い人が入ってくるような体制づくりを考えなければならない。同じような人口規模の他都市で、議員平均年齢が低い都市の研究など、今回の見直しに反映されたのか。
176	多様性が問われる社会でもあり、女性や若い人が議員を目指しやすい環境をつくるのが大切であるが。
177	定数では、24・23・22は微妙である。大垣市や可児市と比べると多い。議員は、市が広いと言われるが、広いところには人がいない。市の人口減は大きな要因である。 無投票はよくないと思う。ある意味予選落ちしない試合みたいなものだ。無投票や一人しか落ちない状況では議員の劣化が出てくる。例えば、2期連続無投票であれば議員定数を1割減らすなど、全国に先駆けて定数変動制をやるべきだ。
178	議論を重ねての報告に至った事は、理解できた。これからは、専門家や識者など第三者の意見も聞いて決めてほしい。最終的にはどう決めるのか。

市民の皆様からのご意見

- 179 削減によって様々な事が出来なくなるといったような、不安を煽るような説明ではなく、どうすればできるのかという前向きな発言をすべき。議会が市民の為に機能するものであれば、どのような定数でも良い。
- 180 課題に対するプライオリティをつけた上での建設的な姿勢を示してほしい。
- 181 市民との接点を増やして、多くの意見を取り入れるようにすべき。
- 182 定数については特段意見はない。常任委員会を複数担当することはできないのか。それで負担が増えるのなら報酬を増額すればよい。
- 183 議会議員に期待すること、普段着でいいのでもっと支所地域も入っていただき、高齢者や子どもたちの意見も聞いてほしい。地域課題についてもより目を向けてほしい。
- 184 全地域に共通する少子高齢化という難題について、議会の総力を挙げて取り組んでいただきたいです。今まででもいろいろ試行錯誤の理解はあるものの、これだというアイデアはまだまだだと思えます。どうぞ、高山市らしいオリジナル的なアイデアをよろしくお願いいたします。
- 185 人口減少が止まらない支所地域にもっと寄り添った議員さんに期待したいです。
- 186 1人の議員としてどのような高山の姿を描いてみえるのか、そのビジョンは？その実現に向けての具体的な策は？その進捗は？示していただけると良いのではないのでしょうか。
- 187 もう少し市民の意見を聞くようにしてほしい。議会活動は本当に行動が伴っているのでしょうか。
- 188 市民理解の促進にあった議員による出前講座の実施、民意吸収機能の向上にあった議員による相談窓口の設置をお願いしたい。
- 189 協働のまちづくり宣言が出され、まちづくり協議会ができましたが、まちづくり協議会と市議会議員のつながりが非常に希薄のような感じがします。
高山市に意見を申し上げた場合、現状では、市役所職員が直接意見を聞いて回答するため、問題に対して、年度をまたいで引き続き粘り強く交渉する人がおられません。そこに市議会議員が間に入ることによって、地域問題の解決により向かえるのではないのでしょうか。
高山市長に提言をした場合、高山市議会には伝わらず、市議長あてに出し直してほしいといわれたことがあります。どうして、高山市の意見聴取窓口が一つではないのでしょうか。
- 190 「ぎかいだより」を見る限り、いまいち活動が見えない。もっとトピックの発信など1つ市民の関心が強いことだけで良いので知らしめると「見える化」が進むと思う。
- 191 選挙のときに掲げたスローガンの進行具合の途中報告があれば、活動に意識がいくと思います。多くの市民に見えるように。若者が市内に残れる環境を期待します。
- 192 市民の要望や意見など民意を吸収し市政へ反映することはもとより、近年の厳しい生活環境だからこそ、将来を見越した財政運営や財政指標の動きなどをしっかりとチェックしていただくとともに、議員の皆様には、しっかりとした議員活動を行うための更なる自己研鑽や資質の向上を期待したい。
- 193 市民に分かりやすい議会活動とするために地道な活動が大事。市民との意見交換の場をさらに増やしていく。広報活動(ぎかいだより等)の更なる推進を。
- 194 議員の自覚を持って責任ある活動をしてほしい。人口減少の中、若い世代に行政に関心を持ってもらえるよう協議検討してほしい。
- 195 地域の意見を掌握することは非常に大切であるが、捉われすぎることなく、市の将来像を見据えた政策を進めてほしい。地域の意見を掌握する中で、時には現状への理解を促すことも必要。
- 196 女性議員の増員による広報活動の強化。若者への地元愛の育成や議員の選出。
- 197 自分の地域のところばかりでなく議員全員で何か高山市が活性化できる取組をしてほしい。観光に頼らないまちづくり。(コロナ禍で解ったと思いますが)
- 198 若者の政治離れ改善にぜひ力を注いでほしい。
- 199 議会・議員に望むことは、市政に対して議会はチェック機能となる市民の声が反映された市政となるよう議員は議会で代弁する。議員は日ごろの活動としては、市全体を考え、見て回り情報を知ることが大事である。このような活動をしてくれる議員が増えると良いと思います。
- 200 過去の議会の様子が見られるようにしてほしい。リアルタイムで見られる方は少ないはず。興味がある質問をされていても見るできないので残念。過去の映像もネットで視聴できるようにしてほしい。
- 201 SNSで活動内容を発信されている議員さんがもっと増える努力をしてほしい。どんな活動をされているのかがわからない。

市民の皆様からのご意見

- 市議会は議員定数について、昨年12月に現状維持が望ましいとの中間報告を行いました。私は議員定数の削減を希望しますが、24人のままで行なうならば、現在1人しかいない女性議員が増えてほしいです。世界では、議員のうち女性の割合が一定になるようにするクォータ制が導入されたり、日本でも昨年政治分野における男女共同参画の推進に関する法律を改正したりと、政治分野への女性の参画が進められています。そんな時代だからこそ、高山でも多くの女性が議員として活躍し、多様な意見が反映される環境づくりを心掛けてもらいたいものです。[市民時報から]
- 行政の進む方向を指し示していく、これが議会に求められる姿の一つではないかなと思う。もちろん、夕張市のようになってはいけないので、そういう意味でもチェック機能を十分発揮していただきながら、その中で市政の推進を図っていただきたい。これが市民の願いではないかなと思っており、その中で市政の推進では、福祉も教育もいろんなことすべて含まれているので、そこをしっかりと、行政と議会は車の両輪だと僕は思っておりまして、それが同じ方向へ、同じベクトルへ向いていただくことが、それこそ市民の幸せになるのではないかなというように思っております。些細なところでございますが、最終的には高山市民の幸せを進めて、目指してやっていただきたいと思います。
- いろんな意見が入るような形、新しい議会を構築していただければと思う。
- 一生懸命やっていたのはわかるが、本当にもっと大きな観点、俯瞰して、どうやったらSDGsも踏まえ、ちゃんと町が、祖先の自慢できる町になっていくのかということ。もっと大きい枠組みで、俯瞰しながら議論していただくと大変ありがたいな。それが未来志向だと思う。もっと議会の存在感、議会はここ2回くらいの選挙では25名の中から24名を選ぶということになっているので、ぜひとも、もっとたくさんの方に立候補してほしいなと思う。それには、求める人物像に選ばれた方になってほしいと思っておりますので、その辺も含めると、もっと少なくともいいのかとは考えてしまう。もっと、立候補できる方が多くなるという考えでは、24という数字もありなのかなと思うが、やはり選ばれた方々になってほしいなと思っております。
- 少しも魅力がないから成り手もない。若い人も女性も議員にならない。逆に、議会が本当に市長を動かすぐらいのつもりでやってもらわないと。そうすれば、やっぱり議会というのはすごいな。市長まで動かすのかというくらいしっかりした意見と、説得力を発揮していただく。今それがない。だから数を減らせと言われる。
- 各党派の代表者の皆さんは、もう少しリーダーシップを発揮して、まとめる方向で、決めることを決め、行政のアイデア以上のアイデアを出し、採用してもらおう、これが市議会議員の力量だと思った。逆に、議会の方から提言したことが通って市長が採用したと。そういう議会であってほしいな。そうすれば若い人が入ってくる、女性も入ってくる。今の状態を見ていると、足の引っ張り合いで、決められない市議会議員だと私は思っている。そういう面も含めて議論していただければ幸いです。
- 身近に議員がいることは心強く、面積、人口と似合った定数(24人)と思われるが、議員の増減をいきなり問われても知識もなくわからないので、議員同士で検討されてはどうか。
- 個人的には、24人は多いと思います。議会活動を視聴しましたが丁寧に説明されていると思います。が、わかりにくい部分も多く仕事内容に対して24人が多いか少なか少ないか判断し兼ねます。
- そもそも議会や議員の方は、一般住民とかけ離れた存在と思っている人が多いように思われる。
- 行政は、ある程度身近に感じられるが、議会や議員は見えにくいいため存在感が感じられない。
- 支所地域に関して、支所に相談を持ち込んでも、なんだかんだ言われて頼みごとが聞き入れてもらえない現状を、議員は理解されているのか。
- 「マチイロ」などで活動を紹介する。
- 意見交換会のほかに議員の活動が見えないのではないかと思います。
- 大半の議員が無所属となっているが、政党に所属して国県とのパイプ役を果たすことは考えないか。
- 議員定数が増えればより多くの市民の意見が、市政に反映する度合いも増えると考えられますが、ただ単に多ければ良いとは考えられない。
- 県内自治体、県外類似自治体との比較は参考になりました。
- 1常任委員会の開催日数をみますと、高山市議会議員の積極的な活動が見て取れます。
- 地域の意見を広く反映するには、議員数が多くても良いのではないかと思います。
- 議員定数は何を基準として決められているのでしょうか？
- 女性や若者の議会参画は必然、支所地域の学生や子育て世代の女性にも、もっと声掛けをしてもらいたい。

市民の皆様からのご意見

- 222 議員定数についての現時点(令和3年11月)での合意事項の中に「現状維持が望ましい姿」としているが、何が根拠で望ましいのかまったく理解できません。私自身、3年以上市議会議員のどなたとも、会ったことも話をしたこともありません。このような状況の中、議会や議員に対して何を期待できるのかを問われてもなかなか言葉が出ません。このような環境では、高山市内から離れている我々地域住民の声が、しっかりと市政に反映されるとは到底思われません。
- 223 仕事の量が不明なため、定数については、どれだけ必要かわかりません。
- 224 冊子などで案内の場合、ほとんどの人に伝わらないと思います。
- 225 下の方の意見は、伝えても通らないのではないのでしょうか。
- 226 議員の方の働きがあまり伝わってこない。
- 227 議席数と女性や若者の参画は、別問題ではと思う。
- 228 議会に出されている一般質問をテレビ中継で見ている、どこまで現状を知っている、あるいは調べて発言されているのか疑問に思うことがあります。
- 229 議会・議員に期待することは特になし。
- 230 市長のイエスマンが多すぎるのでは。
- 231 報酬は、活動内容や活動量を見ると十分に報酬額に相当する議員活動である。
- 232 議員定数については、議会内だけの検討ではなく、時を一にして飛騨市のように、市民アンケートを実施し参考にしては如何でしょうか。
- 233 市議会議員選挙の時だけ市民に愛想を振りまくだけでは、市民はついてこない。
- 234 報酬月額やボーナスなどを加えると年収は決して安い報酬ではなく沢山いただいているのではないのでしょうか。
- 235 現在24名ですが、私個人としては20名で議員報酬を今の金額でどうかと思います。ただ、広域な高山市です。各地域の声を届けるには、24名必要なのかもと思います。
- 236 皆さん頑張ってみえると思います。各議員さんも要望を伝えて、それが全て叶う訳ではないので大変だと思います。(言う方も勝手に好きな事言いますよね！)
- 237 高山市の財政を考えるべき。
- 238 もう少し地域に寄り添った人が出てくれると嬉しいが、難しい。
- 239 議員の名前を聞いても知らない。存在感が薄く顔も知らない。
- 240 大人数での語る会では、住民の声を広く聞くことは難しく声の大きな人の話が多数意見の主になりかねない。
- 241 定数が少ないと多忙の為、議会が回らないとあるが、努力が足りないと思う。
- 242 議員定数を議員がきめるのは、どうかと思われる。法では解るが何か考えなければならない。
- 243 女性や若い議員が無いのは、その人たちの回りの協力が足りない。
- 244 報酬については、資料ではほんの僅かしか載せていないが、他の市と比べても高い。コロナ禍で、一般市民は随分と生活で苦しんでいる。身を粉にして働いても生活が楽にならないのに、議員の報酬が高いのは納得できない。(報酬に見合うだけの働きをしていますか？議員が万引きをするなんて、コンプライアンス意識が低い。市議会の様子を見ていると眠っているように見えるのはなぜ？過疎化・高齢化・コロナ禍で苦しんでいるのに、本当に市民一人一人の意見を聞こうとしていますか？)
- 245 今回の市民意見交換会における各資料を読むと、よくサマライズされ、精査されている内容だと思う。ただ一般市民を対象とするのなら、専門用語や難しい表記が多いので、もっと平易な言葉でわかりやすくしてほしい。(専門家会議等で扱う資料ならそれでもよいが)
- 246 増員・減員を望む方の意見が出てこない。
→そもそもなぜ、この議員定数の増減に関して議論が巻き起こっているのか？不明瞭なまま、結論ありきの報告が進んでしまうように感じられたのが残念でした。とくに、減員を望む一般市民の声や意見を紹介し、それに対応する答弁を掲載しないと、市民の声に応えた報告にはならず、市民感情としても受け入れがたい結論として捉えられてしまうのではと危惧します。

市民の皆様からのご意見

- 247 増員・減員それぞれのメリット・デメリットについて動画では触れられていない。
→減員によるデメリットには終始触れられていたかとは思いますが、増員時のメリット・デメリット、減員時のメリット・デメリット、それぞれを扱って天秤にかけなければ判断は難しいかと思えます。公平に判断材料を示した上で、結論を持って来ていただけたら分かりやすかったのかなと思いました。
- 248 動画内に登場する人物が全員、市議会議員である
→動画の構成上、仕方がないのかもしれませんが、登場人物が全員市議会議員のため、当事者の皆さまから提案されると、変更を起こさない無難な形に着地させたような、正当化されているような意見に聞こえてしまうのが残念でした。例えば、市議会議員以外の有識者、可能であれば増員派と減員派、据え置き派それぞれの立場から意見を言ういただけてもよかったですのではと思います。
- 249 地元議員がいなくなった場合どのような方法を考えているのか。
- 250 費用弁償についてはポケットマネーではなく、しっかり制度化して必要な費用は補償していく方向がいいのではないかと。また、議員定数で、市民の立場から忘れてならないのは、行政に市民の意見を託す場であり、議員が減ることは自らの意見が反映できないことに陥る。市民の立場に立って経費の節減の事や他の自治体と比べるのではなくしっかりと議論をして決定してほしい。
- 251 やっぱり現状の定数から減らせなかったかという感じです。
- 252 ヒットネットTVで委員会を見ると年配の議員が新人議員を威圧的にするところを見ることがあります。委員会の雰囲気は見ていて気分がよくありません。若い議員が子どもを養いながら議員活動ができるよう議員定数を減らして議員報酬をあげる。年配議員には若い世代、女性が議員になりたいと思うような議会改革をお願いしたいです。
- 253 一般の会社でも社外人材を多用している。専門的な人材を登用して、トータルで1委員会8名でもいいのではないかと。
- 254 一般市民へモニタリングする予定はあるのか。
- 255 通年議会について、常任委員会の兼務等の議論はされたのか。
- 256 定数を減らさないような理論ではなく、減らしてもできることは考えられないのか。
- 257 22人全員がこれで良いと判断したのか。
- 258 減らしてもいいと言われた議員は、何人いたのか。市民が要望していることは大事なことです。
- 259 定数が多いと費用がかかる。少ないと機能が低下する。そのバランスを考えて決めるのが大事ではないかと。
- 260 市民に定数の意見を聞くだけでなく、具体的にどう議論したのかであり信念をもって示してほしい。10年、20年後の定数も示すべきではないかと。
- 261 中間報告の中に基幹産業である観光関連の表現がないのが気になるのと、経済団体からの定数削減の要望への対応は、どのようになっているのか。
- 262 面積は関係ないと思う。議員が多くなれば地域がよくなるとは考えられない。報酬は妥当、一般社会ではもらえない。
- 263 定数削減の議論は財政面から言われているのか、その必要性があるのか。また市民サイドから言われているのか、議員サイドから言われているのかよく分からない。
- 264 大垣市などは高山市より規模も大きく、定数は少ない。同規模他市との比較検討はされたのか。またどう捉えているのか。
- 265 女性議員が少ない。定数についてはわからないが、サポートする人材が多様であれば良いのではないかと。
- 266 案内では議題について聞いていない(定数)。しっかり案内すべき。
- 267 説明が分かりにくい(定数)。子どもでも分かるようなものにするべき。
- 268 中心市街地を政策の中心にすべき。
- 269 定数の問題を市民と意見交換する必要があるのか。
- 270 年々良い会になってきていると感じるが、議題は絞らずにやって頂きたい。事務局とのしっかりした連携もお願いしたい。
- 271 今後も(人口減を)注視していただきながら必要に応じて定数の増減を考えていけばよいのでは。

市民の皆様からのご意見

- 議員報酬について減額を要望します。
- 272 ①県内で高山市と同程度の市にあって、月額報酬が低い市がある。(可児市・中津川市等)
②高山市内の一般企業にあって、議員報酬より高い所は少ない。また、コロナ等によって収入減となっている所がある。
- 273 議員を減らした場合のデメリットを優先して考えてほしい。
- 274 市民からの意見も大切だが、議員の意見を優先させるべきではないか。
- 275 議会日数や各受け持ちの常任委員会等で取り組んでいる業務量を考えた報酬なら良いと思います。あまりにも報酬をカットすると今後議員候補が減少に至り、定員割れが生じて来るのではないかと不安である。
- 276 広い高山市で支所地域は色々な課題を相談やお願いするにも、地元の事をよく分かる議員は必要だと思います。ただ議員を減らす事で大幅に税金がへるのなら削減も。
- 277 定数24～21でいいと思う。
- 278 地域住民の意見を吸い取って行政へのお願い等には、地元議員は必要と思う。しかし、現在の選挙制度では、人口が密集した市内では議員の擁立は複数でも可能であるが、人口減少の小さな町については当然難しいと思う。条例によって定数に幅をもたせるのも(現定数±0名)
- 279 人口の減少に歯止めがきかない状況では、町自体の存続もどうなるか。市の財政にも負担が。議員さん方には、負担が大きくなるが頑張ってください。
- 280 地元議員は地元重視となるのが必然であるが、市街地についてももっと目配りをお願いしたい。オール高山になっていない気がする。立場は違うが、國島市長のように行動力をお願いしたい。各議員共、選挙の時はそれぞれにマニフェストを挙げて当選したと思うが、実態はどうなのか？申し訳ありませんが、地元選出の議員はいないため聞くことはできませんが。
- 281 今回、議員定数等の資料を頂きましたが、聞きなれない用語も多く、これを参考に各地域で議員さんが市民と語られる又語ったとしたら、聴講した参加者の皆さんはどのように理解したらよいのか？難しい解りづらいといった気がしました。申し訳ありません。
- 282 地方分権、日本一広い面積
地域課題の深刻化や深い議論、広い市域への対応のため人数が必要とありますが、現状議員が市役所にて活動している時間が資料では示されておりません。報酬の金額からいけば残業をする必要はないと思いますが、少なくとも朝8時30分から午後5時まで平日は市役所へ行き議論したり、地域などへ出向き活動してもよい金額であると思います。近所の議員さんを見ますと、比較的平日でも自宅にいたり、自身の会社にいたりされておりそこまで議員活動に時間を割いていない印象です。少なくとも現状議員活動している時間数、市役所に滞在している時間数などは示していただかないと、多い少ないの判断はできないと思います。
- 283 女性や若者の議会への参加の促進、人口減少
議員定数維持の理由に若者や女性の参画の機会を奪うとありますが、市民が立候補する判断は定数によるものではなく、立候補したい議会であることが最も重要であると思います。定数よりも、子育てと議会活動の両立や、オンラインでの議会参加などの環境整備を進め、さらにその内容を積極的に情報発信したり、女性や若者の団体へ出向き立候補したくなるような議会について周知することや、現職が若者の後継者を擁立することが必要だと思います。むしろ、定数を減らさず多くの現職がそのまま立候補するようなことになれば、それは提案の内容とはまったく異なり、市民は失望するでしょう。自身は定数と立候補の因果関係はほぼないと考えますし、今の議会では定数の議論をする前に立候補したいと思える環境整備や情報発信が十分行われているとはなかなか思えません。
- 284 「日本一広い面積」「広域となった全市域をカバー」について、市町村合併時に分かっていたことではないか。「過疎地域の持続的発展」についてどのような議論がなされているのかは知りませんが、例えば市街地から離れたところに住む方がみえれば、その住居までインフラ整備が必要となってきます。それに伴う予算も必要です。面積は広くても居住地をコンパクトにして、市民サービスを増大させた方が良いのではないかと思います。決して過疎を切り捨てるということではなく、自分なら将来的に車がなくても安心して生活できる場所に住みたいと思うからです。都市部との大きな格差も感じるからです。
- 285 高山市の議員定数は、全国的に県内各市と比較しても多くはない。人口減少が顕著となっている中、人口に見合った議員数に見直す必要がある。常任委員会8名の必要性について、理由付けが理解できない。
- 286 議員に女性が少なく、20代30代の人がないのは、なんとも寂しいし意見の偏りが出てくるので、夏の補欠選挙には是非こういう方たちが立候補してほしい。

市民の皆様からのご意見

- 287 議員の間でいろんな差はあると思う。我々民間の常識、価値観から言えば、時間×能力、そしてニーズが成果になると思っている。人数が1人減ることによって、どれほど成果が下がっているのか。そのようなことは数量的に表現できないかもしれないが、まず、どの程度の活動時間を費やしてみえるのかなということをお聞きしたい。
- 288 現状22人体制でやっている。何か具体的に支障が出ているところがあるのか。また、大学の先生が7から8人必要と言われるが、実際、議員の皆さんたちはどのように思っているのか。
- 289 議員定数を削減することで女性や若者の議会への参画の機会を奪うことに繋がると言われるが、人数が減るからとかということではなく、特別、定年制があったり、何回以上は選挙に出てはいけない、そういうルールはないので、何年でも何回もできるという形にはなる。そういったところで、新しい方が入りづらい環境を作ってしまったのかと感じている。
- 290 住民へのアンケート、要するに定数削減に関する意見を求めるという意味で、市民からの幅広い意見を求めるという観点から、そういった方法が取れるのではないのか。
- 291 定数に関しては、いいとも悪いとも言えないが、高山としての未来像を、どこまでどういうふうに議員の皆さんが見ているのか。今後、人口減少が進む中で、高山というまちはどうなっていくのかという未来像が出来上がってくると思う。その未来像の中で、今子どもたちがどれだけ高山から輩出されているのか、要は高校卒業して大学に行って、どれだけ戻ってきているのかという現状を見ていただきたい。高校を卒業して高山を離れる高校生は600人ぐらい。その方が毎年毎年出ていって、何割の方が戻ってきているのかということだと思う。高山から輩出して、それが戻ってこないということは、リターンがないということ。高山の減少というのは、もちろん年配の方も増えてきますし、今後、若者もどんどん減っていくという実情を踏まえた上での未来像を、今後どうするかというのをもっと見ていただきたいというのは、私達も心配するところであると思います。それはやはりまちが廃れていくという現状になっているのではないかと、ところどころが少しあるので、観光産業から見ると、そういったところがどんどん増えてくれば、やはり観光客も来なくなる、それで収入もなくなってくるという現状になってくるので、その辺は議員さんたちがどのような未来像を示していくかによって、議員定数というのも変わってくるのかと、そういったところを見ながら、やっていただければと思っている。
- 292 住民投票ではなくて市民アンケートをする。全員に出すのではなくていいので、無差別にどういう形で出すかどうか含めて、ある程度、特別委員会としての議員定数、そして議員報酬に関する市民アンケート、第三者委員会を設置したらどうかというような皆さんからの意見もあったように、それらも含めてですね、第三者委員会の設置だとか、それと市民アンケートの抽出だとか、特別委員会がこうやって頑張ってるんだということを示す以上、そんなアンケートをとっていただくことも一つの意向かと思う。